

建設技術審査証明事業 住宅等 関連技術

概要書

高伸張形・高強度形2成分形ウレタンゴム系
塗膜防水材料を用いた保護密着防水工法

「アスミック保護密着防水工法」



2022年3月

建設技術審査証明協議会会員



一般財団法人

ベターリビング

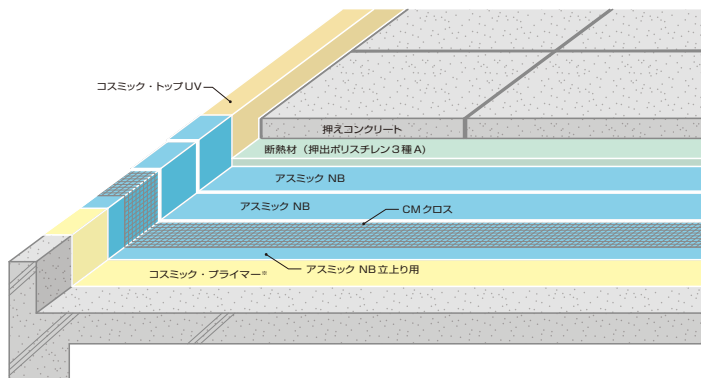
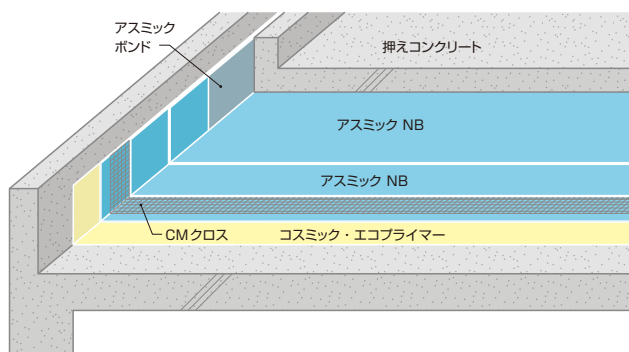
技術概要

「アスミック保護密着防水工法（以下「本工法」と呼ぶ）」に用いる主材である「アスミック NB」は、「JIS A 6021:2022 建築用塗膜防水材料 屋根用塗膜防水材料 ウレタンゴム系（以下「JIS A 6021」と呼ぶ）」の高強度形および高伸長形の両規格に適合した特定化学物質障害予防規則に非該当のウレタン塗膜防水材料で、高強度・柔軟性かつ耐アルカリ性を有する。

本工法は、新築防水で多く採用されているアスファルト防水保護仕上げ工法と同様に、新築および改修の防水工事での保護防水工法が可能なウレタンゴム系塗膜防水工法である。

図 1 室内保護密着防水工法

図 2 屋外保護密着防水工法



【開発目標】

(1) 塗膜物性

工法の主材である「アスミック NB」の塗膜物性が、JIS A 6021:2022 の屋根用塗膜防水材料の性能のウレタンゴム系高強度形および高伸長形の性能を有すること。

(2) 防水性能

本工法の基本性能として、保護コンクリート又は保護モルタル仕上げの施工・荷重に耐えうる防水工法に要求される防水性能を有すること。

(3) 耐アルカリ性

工法の主材である「アスミック NB」が、保護コンクリート又は保護モルタルによる仕上げが可能な耐アルカリ性を有すること。

(4) 周辺環境及び作業員へ与える影響の検証

在来工法であるアスファルト防水熱工法に比べ、火気・煙が無く、刺激臭が少ない安全と環境に優れた工法であること。

適用範囲

適用部位

建築物の厨房、浴室、便所、屋上、ルーフバルコニーなどの保護仕上げ

下地の種類

- (1) 現場打ち鉄筋コンクリート
- (2) プレキャスト鉄筋コンクリート部材

性能検証結果

開発目標に対する性能検証を行った。

	開発目標	確認方法	結果
(1)	塗膜物性 工法の主材である「アスミックNB」の塗膜物性が、JIS A 6021:2022の屋根用塗膜防水材の性能のうち、ウレタンゴム系高強度形および高伸長形の性能を有すること。	JIS A 6021:2022屋根用塗膜防水材に基づく試験を実施する。	高強度形及び高伸長形全ての性能を満足した
(2)	防水性能 本工法の基本性能として、保護コンクリート又は保護モルタル仕上げの施工・荷重に耐えうる防水工法に要求される防水性能を有すること。	JASS8 T-501-2014メンブレン防水の性能評価試験に基づく試験を実施する。	
		第1ステップ試験 ・水密試験	漏水なし
		第2ステップ試験 ・疲労試験(A形試験体) ・へこみ試験 ・衝撃試験	疲労:A4 へこみ試験:4 衝撃試験:3
(3)	耐アルカリ性 工法の主材である「アスミックNB」が、保護コンクリート又は保護モルタルによる仕上げが可能な耐アルカリ性を有すること。	アルカリ温水浸漬試験を実施し、物性保持率の確認を行う。	100日後の物性保持率87%
(4)	周辺環境及び作業員へ与える影響の検証 在来工法であるアスファルト防水熱工法に比べ、火気・煙が無く、刺激臭が少ない安全と環境に優れた工法であること。	本工法とアスファルト防水熱工法で周辺環境及び作業員へ与える影響を比較する。	火気が不使用であることを確認した。 臭気比較試験 在来工法:45点 本工法:27点

技術内容に関するお問い合わせ先



株式会社 **ダイフレックス**

DYFLEX

東京支店コスミック事業部 ☎03-6434-7249

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F

本概要書は、一般財団法人ベターリビングが行った「建設技術審査証明事業（住宅等関連技術）」の結果を広く関係各位に紹介する目的で作成したものです。

一般財団法人ベターリビング <https://www.cbl.or.jp/>

建設技術審査証明協議会 <https://www.jacicnet.jacic.or.jp/sina/>